

## ■GPA（グレード・ポイント・アベレージ Grade Point Average）制度について

GPA（Grade Point Average）とは、諸外国の大学で採用されている制度で、卒業に必要な単位をただ取得するのではなく、高い学習意欲を持って履修登録した科目の単位を修得するよう促すことを目的とした評価制度です。大学での学びを考えた時、皆さんが修得した単位数を「学びの量」、取得した成績を「学びの質」とするならば、GPA値は「学びの質」を可視化するための一つの指標と言えます。具体的なGPA値の計算方法は次のとおりです。

### GPA値の計算方法

$$\text{GPA値} = \frac{\sum (\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目の「GPA係数」})}{\text{履修登録した科目の単位数}}$$

- ・ GPA係数：秀＝4、優＝3、良＝2、可＝1、不加＝0、出不＝0
- ・ 2単位のある科目について不加／出不となり、後に再履修して単位認定を受けたという場合、「履修登録した科目の単位数」は、「4」ではなく「2」となります（分母・分子のいずれにおいても、同一科目について複数カウントすることはないということです）
- ・ 卒業要件に含まれない科目及び「認定」科目（他の教育機関など修得した単位を本学が認定した科目）についてはGPA値の計算に際し除外されます

たとえば、AさんとBさんのある学期の成績が次のようなものだったとします。

(Aさん)

| 履修登録科目            | 単位数 | 成 績 | GPA係数 | 単位数×GPA係数 |
|-------------------|-----|-----|-------|-----------|
| 基礎演習Ⅱ             | 2   | 秀   | 4     | 8         |
| 健康スポーツ教育Ⅱ         | 1   | 良   | 2     | 2         |
| イングリッシュコミュニケーションⅡ | 2   | 不可  | 0     | 0         |
| リベラルアーツ（人文）       | 2   | 可   | 1     | 2         |
| データサイエンス入門        | 2   | 優   | 3     | 6         |
| ビジネスプランニング入門      | 2   | 優   | 3     | 6         |
| TOEIC演習           | 2   | 出不  | 0     | 0         |

(Bさん)

| 履修登録科目            | 単位数 | 成 績 | GPA係数 | 単位数×GPA係数 |
|-------------------|-----|-----|-------|-----------|
| 基礎演習Ⅱ             | 2   | 秀   | 4     | 8         |
| 健康スポーツ教育Ⅱ         | 1   | 良   | 2     | 2         |
| イングリッシュコミュニケーションⅡ | 2   | 優   | 3     | 6         |
| リベラルアーツ（人文）       | 2   | 可   | 1     | 2         |
| データサイエンス入門        | 2   | 優   | 3     | 6         |

この場合の、AさんとBさんのGPA値は次のようになります。

$$\begin{aligned} \text{(Aさん)} & \quad \frac{2 \times 4 + 1 \times 2 + 2 \times 0 + 2 \times 1 + 2 \times 3 + 2 \times 3 + 2 \times 0}{2 + 1 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2} = 1.846 \\ \text{(Bさん)} & \quad \frac{2 \times 4 + 1 \times 2 + 2 \times 3 + 2 \times 1 + 2 \times 3}{2 + 1 + 2 + 2 + 2} = 2.667 \end{aligned}$$

この例において、AさんとBさんが修得した単位数はいずれも9単位ですので、二人の「学びの量」は同じです。また、二人が単位を修得した科目の成績は、秀が1科目、優が2科目、良が1科目、可が1科目と、これも同じです。しかしながら、GPA値の算出には（後にその科目を再履修して単位認定を受けるということがない限り）不可や出不が含まれますので、（再履修して単位認定を受けるということをしていない）不可や出不の科目が多い方がGPA値は低くなります。実際、AさんとBさんが修得した単位数、単位を修得した科目の成績は同じですが、Aさんには不可・出不の科目がそれぞれ一つずつありますので、その分だけAさんの「学びの質」の方が低く、それを反映してAさんのGPA値の方が低くなっています。このように、修得した成績を数値化したGPA値を評価指標にすることで、「学びの質」が見えてくることになります。

以上の説明から明らかとなおり、GPA値が高いことは、本学でしっかりと学修したことの一つの証となります。卒業まで高いGPA値を維持することが一つの目標となります。